



パリンジック ケースディスカッション Web視聴会

日時 9月26日(木) 18:00 ~ 19:00

形式 Web開催 URL発行に事前登録をお願いしております

Moderator/Advisor

石毛 美夏 先生 日本大学 医学部小児科学系 小児科学分野

Speaker

西田 ひかる 先生 東京慈恵会医科大学 小児科学講座

ご参加には事前登録をお願いしております ▶

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZ0ocuirrDkrG910mxUY5J0a29VHln4Ktd8k>



ECHO
M.A.P.

Extension for Community Healthcare Outcomes

Maximising Advances in Phenylketonuria



BIOMARIN

実臨床でペグバリアーゼ(パリンジック)治療をスムーズに開始できるように、導入・漸増期から維持期への移行をサポートするプログラムです。発表者の先生方に症例の提示・解説をいただき、個々の症例について議論いただけます。

医療従事者を対象にご案内させて頂いております。

主催: BioMarin Pharmaceutical Japan 株式会社

紹介した症例は臨床症例の一部を紹介したもので、全ての症例が同様な結果を示すわけではありません。

パリンジック ケースディスカッション Web 視聴会

症例紹介

西田 ひかる 先生 東京慈恵会医科大学 小児科学講座

▶ パリンジック 10mg 投与で低フェニルアラニン血症を経験した一例

症例

30代女性。妊娠前・妊娠中は厳格な食事療法により血中フェニルアラニン (Phe) 値を適切にコントロールし出産した。

出産後は食事療法が困難となりPhe値は1000 μ mol/L前後で推移したため、本人とご家族の希望でパリンジック投与を開始した。

過敏症反応の発現など患者の状態に留意して慎重に増量した。

投与開始から5か月経過し、10mg週4～連日投与をしていた頃より、Phe値は測定感度以下となった。

パリンジック用量を10mg連日から10mg週2回に回数を減らし、血中Pheの推移をモニタリングしている。



ディスカッション ポイント

- 出産後育児中の女性の適切な導入タイミング
- タイトレーションスケジュール
- 副作用マネジメント

ECHOメディカルトレーニングプログラム

ECHO* M.A.P. (Maximizing Advances in Phenylketonuria) とは?

実臨床でペグバリアーゼ治療をスムーズに開始できるように、導入・漸増期から維持期への移行をサポートするプログラムです。

4本のオンデマンド動画(各13～21分)から構成されているコア・カリキュラムでは、臨床現場におけるペグバリアーゼ治療の準備に焦点を当てた、4つのテーマについて解説します。

*ECHO = Extension for Community Healthcare Outcomes

- Module 1 ペグバリアーゼの概要と165-305試験
- Module 2 海外第Ⅲ相試験: PRISM-1・PRISM-2
- Module 3 医療機関の準備と患者さんとのコミュニケーション
- Module 4 投与方法と有害事象の管理

下記よりご視聴が可能です。

バイオマリン医療関係者向けサイト: Medical+

<https://medical-plus.bmrn.co.jp/palynziq-online-training/>